

情報端末についてのアンケート

タブレットに関する疑問に思うことや困っていること

① 学校への持ち運びが負担。

→国語の教科書やリコーダーなど宿題で使うもの以外は置いて帰るようにしています。

② タブレット活用の仕方が担任によって差がある。

→他のクラスの取り組みの様子を見るなど、タブレット端末の研修や今の段階での活用の交流を行っていきます。

③ SNS やインターネットの危険性やルールについての指導。

→事例集や今使っている中での疑問などを話し合いながら、道徳や特活を利用して指導します。

④ ブラインドタッチの指導。（間違っただけの指使いになる心配）

→文字の入力になれ、楽しく使えるようにします。まず、入力しての操作に慣れることを第一に考えています。

⑤ マウスが欲しい。

→家庭内で使用する際は、ご自宅のマウスを使用してください。学校では、タッチパッドや画面を触れての直接操作で使っていきます。

⑥ アプリやクラスルームの使い方。（チャットのようなお喋りの場になっている。）

→子どもたちと共に考え、るーるづくりもしていきます。

⑦ 子どもがどのようなことをやっているのか内容を確認しにくい。

→子どもだけのものではなく、お家の人も情報端末の理解をしていただくために、一緒に使う場を設定しています。

⑧ 子どもによって活用の差がついてしまう。

→アプリの活用の仕方は一律で学校で指導・提示をします。その先は、段階的に学校・学年に応じて、基礎的な問題をしたり、発展問題をしたりするなど、個に応じて進めていきます。

⑨ 親も含めて使い方の講習があるとたすかる。

→活用の仕方を保護者向けにも様々な形で発信していきます。

※文部科学省のHP に動画（教材）があります。参考にしてみてください。

⑩ 1日のタブレットの使用時間はどれぐらいが適切？

→はじめの便りにもあったように、30分に1回で休憩をはさみながら使うといいと思います。

⑪ 操作が分からないときは？

→翌日、学校で先生に聞いてください。

⑫ 充電を忘れたりやタブレットを忘れたりしたら？

→忘れたら他の児童に見せてもらうなどの対応をしますが、できるだけ忘れないようお願いします。

⑬ 事案によって保険の適応の仕方は？

→4月に配布した便りをご覧ください。詳しくは、アスコンさんにお尋ねください。